

## 第1回 佐倉市公共施設再配置審議会会議 議事録

日時	令和5年10月4日(水) 午後3時から午後5時まで
場所	議会棟1階 第1委員会室
出席者	○出席委員 柳澤 要委員、堤 洋樹委員、三枝 康雄委員 若狭 正伸委員、大内 俊郎委員、東條 寛樹委員 以上 6名 ○事務局職員 織田資産経営部長、谷田部資産経営課長、橋本副主幹、早川主査、木勢主査補 ○傍聴人 4人
配布資料	資料1 委員名簿 資料2 佐倉市公共施設再配置審議会設置条例 資料3 会議の運営について 資料4 佐倉市の現状と方針策定の進め方 資料5 市民アンケート(案)
議事	① 会議の運営について ② 公共施設再配置方針の策定について ③ 市民アンケートについて

## 1 開会

## 2 委員紹介

## 3 会長の選出

佐倉市公共施設再配置審議会設置条例第6条の規定に基づき、会長は委員の互選により柳澤委員が選出されました。

## 4 議事

### 【議事① 会議の運営について】

#### 【議長】

それでは、次第に従い、議事を進めます。

議事①会議の運営について協議します。会議の運営に関する取り決め事項としては、「会議の全部又は一部非公開の決定方法について」、「議事録の作成方法について」、「会議傍聴要領について」の3点です。事務局より一括して説明をお願いします。

#### 【事務局】

(資料3に基づいて説明)

#### 【議長】

事務局から会議の運営に関する事項の説明がありました。何かご質問・ご意見があればお願いします。

#### 【大内委員】

議事録の作成について全文筆記となっていますが、要約筆記ではいかがでしょうか。

#### 【議長】

事務局からいかがでしょうか。

#### 【事務局】

委員の皆様が発言意図がより正確に伝わるよう全文筆記を提案いたしました。全文筆記ではありますが、発言内容の重複や話し言葉の修正など、最低限の修正はさせていただきます。

#### 【若狭委員】

公共施設の再配置は市民の関心も高いため、より正確な全文筆記とした方がいいと思います。

#### 【議長】

大内委員、よろしいでしょうか。

#### 【大内委員】

事務局の負担軽減になればと思い発言しましたが、承知しました。

#### 【議長】

その他に何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは、会議の運営について事務局提案のとおり、会議を運営していくこと

でよろしいでしょうか。

(異議なし)

【議長】

ありがとうございます。会議の運営について、事務局提案のとおり行うことに決定しました。

それでは、議事録署名人の指名をさせていただきます。議事録署名人は、堤委員と大内委員にお願いいたします。堤委員と大内委員には後日、議事録の確認とご署名をお願いしたいと思います。

なお、本日の会議につきまして、佐倉市情報公開条例の規定により、会議は原則公開であり、本日の議事につきまして非公開に該当する事項が含まれていないと考えますので、公開といたします。

【議事② 公共施設再配置方針の策定について】

【議長】

議事②公共施設再配置方針の策定について事務局より説明をお願いします。

【事務局】

(資料4に基づいて説明)

【議長】

ただ今事務局より、公共施設再配置方針の策定についての説明がありました。何かご質問・ご意見があればお願いします。

状況としてはかなり厳しいということ、地域差があるということ、人口が減っていく見込みの中施設数をどれだけ減らせるかということ、財源があまりないということ、施設の集約化などにより保有総量を2割の削減目標ということです。スケジュールとしては、これから動き出すということで、審議会や市民ワークショップなどを予定しているということでした。

【若狭委員】

8ページの総合管理計画での位置づけについてお伺いします。保有総量の縮減を図っていくとありますが、具体的な基準や考え方は既にありますか。これから作成するのでしょうか。

【議長】

事務局からお願いします。

【事務局】

施設評価の中で定量・定性的な評価を行っていて、一定の方向性が見えてきている状況ですが、具体的な施設をどう減らすかまでは決まっていない状況です。

【議長】

評価の方法についてはやり方が決まっているけど、スコアが悪いから廃止というのは簡単にはいかないということでしょうか。ハード面で老朽化の度合いやソフト面で利用率などの指標があると思います。公共施設のタイプによっては利用者が少ないから廃止というのは難しい場合があると思います。

【事務局】

施設の評価と各施設の方向性の事務局案について、次回お示しする予定です。

**【議長】**

その他に何かございますか。

**【大内委員】**

本審議会に諮問されている事項、タイムスケジュールの中で、いつまでに何を決めるのかをお示しいただきたい。方法論として優先順位をつけながら検討していく、効率的な経費にするとということもあると思いますが、利用者に適切な負担を求めていく、いわゆる受益者負担といったことは本審議会で検討するのでしょうか。

また、方針策定支援業務で事業者はどのような業務を行うのでしょうか。

**【議長】**

事務局から回答をお願いします。

**【事務局】**

審議会にどういうことを諮問していくのかということについてですが、再配置方針の案について審議していただく予定です。佐倉市公共施設再配置審議会条例第3条に諮問する事項が規定されており、次回会議では評価の指標や方針案についてお諮りしていく予定です。

タイムスケジュールについては、今年度行政内部の調整を済ませた案について、市民に示す前に本審議会ですっきり審議いただいたのちに中間案をまとめて、来年度以降ワークショップや市民説明会も開催して市民の皆様からご意見を聴取して方針案に反映させながら進めていくことを考えています。最終的な方針策定は、来年度末ごろを予定しています。

支援業務の概要については、アンケートの案の作成や集計、分析、ワークショップでのファシリテーターとしての協力など、コンサルとしてのアイデアや支援をいただく予定です。

受益者負担について、使用料、手数料条例は、財政課が所管していて定期的な見直しをしています。連携しながら進めないといけないと考えていますが、今のところ具体的な予定はありません。本審議会での審議としては、市民アンケートの設問にも利用料金について一部記載があり、その視点も含めてご審議いただく予定です。

**【議長】**

自分が使っている施設を別の施設と統合したり廃止したりするくらいだったらお金を払ってでも存続してほしいというような意見もあるかもしれません。

**【三枝委員】**

中間案や来年度の再配置方針についてのアウトプットのイメージについて確認させてください。私は具体的な施設の統合・廃止計画を作成していくつもりで考えていましたが、説明を伺っているとそこまでの具体案を作成するのではないように受け取れます。

また、3月に中間案をまとめて、それをベースにワークショップをしていくということですが、ワークショップで求めること、話し合いをして検討していくレベル感がどの程度のものをお考えなのかということを確認したいと思います。

**【議長】**

事務局から回答をお願いします。

**【事務局】**

方針の具体的なアウトプットのイメージは、資料4の右下の表のように、施設ごとに統廃合等の方向性をある程度具体的に載せる予定です。先生が当初お考えになられていたとおり具体的な方針を検討することになると思います。

**【三枝委員】**

そうするとものすごく大変な作業になると思いますが、約36万㎡、714棟の施設について個別に評価、判断して方針を立てていくという作業をイメージしていればよろしいということですね。

**【議長】**

市が所有する全ての施設について複合や廃止の方針を示すということによろしいでしょうか。

**【事務局】**

施設評価では、小さい倉庫など一部の施設を除いた形で行っています。また、全ての将来を一度に決められるものではないと思っています。資料4の9ページに例示した盛岡市の中期計画の表と同様に、まず12年の期間の中で短期的に方向性を考えられる施設、早期に取り組まなければいけない施設をお示しして、残りの施設は同表の一番右側の列の12年後どうするというような形でお示しすることになると思います。

**【議長】**

いきなり市が全ての施設について3期の予定を示してもなかなか理解を得ることは難しいかもしれません。やみくもに案を持っていくのではなく、客観的な基準に沿った説明ができるようにした方がいいと思います。

**【事務局】**

施設評価等の客観的なデータを基に検討していく予定です。

**【大内委員】**

基本的な考え方をあらかじめ決めずに一件一件やっているとブレが出てきます。事務局の説明であった経年劣化、見直しの優先順位が高いという基準、基本的な考え方はすでに決まっていますか。公民館などのように法律で設置が義務付けられているものは基準が明確ですが、数がどこまで縮小できるかという話だと思います。

**【事務局】**

施設評価の指標の部分になりますが、次回会議で案をお示しして皆様のご理解をいただく予定です。

**【議長】**

施設タイプによっても指標が違うということでしょうか。

**【事務局】**

公民館などの利用者人数で測れる施設や学校等の定数が決まっているものなど、指標を変えながら、整理を進めているところです。

**【議長】**

学校が1学年1クラスになったら統廃合を検討するなど、多くの自治体で基

準を作っています。1学年1クラスになったから廃校というのも難しく、小規模特認校という選択肢もある。どういう条件で小規模特認校にするのか、どうした場合に廃校にするのかということは明確になっていないといけないと思います。施設ごとにいろんな基準が出てきて、単純にまとめるのは難しいと思います。さらに学校施設の複合化ということになると各自治体で明確な基準があるわけではありません。学校に何か複合化すると現実的にいろいろと難しい問題が出てきてなかなか簡単にはいかないと思います。

**【大内委員】**

学校の設置数は交付税の関係もあると思います。

**【事務局】**

三枝先生のもう一つの質問について、ワークショップのテーマはある程度具体的なものにするのを考えていますが、まだ検討中です。市民の皆様にも市の現状を知っていただくということと、地区ごとの施設評価の内容をお示ししながら皆様の利用状況をお聞きして、アイデアをいただきながらどういう施設があればいいと思うかといった内容にすることを考えています。

**【議長】**

ワークショップにどのような方が参加されるかということも大事だと思います。一番意見を聞きたい対象は意外と参加してくれないことがあります。必ずしも住民の総意じゃないことになることもあるので、人選の決め方が重要になるかと思っています。市民アンケートやパブリックコメントとのバランスも考えられるかと思っています。

他に何かございますでしょうか。

**【大内委員】**

市議会の関係はどういった時期にどういった報告をするのでしょうか。

**【事務局】**

まず中間案を市民に公開する前にお示しします。ワークショップにもご参加いただいてもいいかなと思います。

**【大内委員】**

議員は市を監視する役目もあるので、ワークショップに入ってくることは賛否あると思います。慎重にご検討いただいた方がいいと思います。

**【事務局】**

例としてワークショップを挙げましたが、市民の皆さんが集まるワークショップに議員として参加というわけではなく、議員の皆様のご意見をお聴きする場を用意することもできるという意味です。

**【議長】**

市民ワークショップに議員として参加していただくということではないですね。

**【大内委員】**

承知しました。

**【議長】**

それ以外に何かご意見等はございますでしょうか。公共施設再配置方針の策定について、事務局提案のとおり事務を進めていくことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【議長】

それでは公共施設再配置方針の策定について、事務局提案のとおり事務を進めることにしたいと思います。

【議事③ 市民アンケートについて】

【議長】

続きまして議事③市民アンケートについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】

(資料5に基づいて説明)

この中でまずご審議いただきたいのは、対象者の年齢についてご審議いただきたいと思います。市の意向としては、若い世代も公共施設を利用するという点、これから更新費用等を負担することになる若い世代の意見をできるだけ取り入れたいという観点から、16歳以上としています。他の自治体を見ると18歳以上としている事例が多く、成人年齢が18歳以上になりましたのでそういう基準にしているのかなということも考えられます。もっと低い年齢でもいいのではないかという意見もあるかと思います。この点についてまずはご審議をいただければと思います。

【議長】

対象年齢だけではなくアンケート全体についてご意見があればということでもよろしいでしょうか。それでは市民アンケートについての説明がありましたが、ご質問・ご意見があればお願いします。

【大内委員】

アンケートの対象が16歳以上ということは、ワークショップの対象も16歳以上ということでしょうか。アンケートの中でワークショップへの参加の意向確認の設問があります。ワークショップは13歳以上などということになると、矛盾が生じてしまうのではないかと思いますがいかがでしょうか。

【事務局】

ワークショップにおいても若い世代の意見を多く取り入れたいと考えておりますので、小学生等も対象にできればと考えております。アンケートは小学生を入れてしまうと設問の内容を小学生向けに作り替える必要が出てきてしまうので、アンケートは高校生以上を予定しています。

【若狭委員】

設問3の中で、農家や自営業の方はどう答えればいいでしょうか。

【事務局】

自営業の選択肢があった方がいいということでしょうか。

【若狭委員】

フルタイム勤務やパート勤務だと従業員のイメージがあるかもしれません。

**【事務局】**

公共施設を利用する時間帯を把握するための設問として考えていました。農業をやられている方について補足したほうがいいというイメージでしょうか。例えばフルタイム勤務の選択肢の中に農業、自営業といった記載を追記した方がいいということでしょうか。

**【若狭委員】**

農家の人は朝が早いです。公共施設の利用時間帯ということ把握したいという意図であれば、選択肢の整理が必要かと思います。

**【事務局】**

フルタイムとパートタイムだけでは区分が難しい部分があるので、事務局で整理して後日委員の皆様にお示ししたいと思います。

**【議長】**

設問 3 の家族構成についても子どもはいるけど一緒に住んでいないといった場合にどう答えればいいのかといったこともあると思います。選択肢の修正や補足をお願いします。

**【堤委員】**

対象年齢については、基本的には低い年齢から取った方がいいと思っているので、16 歳以上でもいいと思います。ただ、アンケートの取り方が 3000 名無作為抽出なので、現実的には配っても親が答えてしまうということが起こるような気もするので、アンケートの取り方を工夫していただけたらいいかと思えます。例えば中学校にお願いすると数は集まりますが、無作為ではなくなってしまうのでどうするかという話になると思います。

それから 3 点ご検討いただきたい点があります。質問が 2 点あります。

まず設問 6 で 19 施設について利用状況を聴いて、問 7 で 19 施設について利用したことがない施設をピックアップするということは答えるのが難しいと思います。ここまで細かく聴く必要があるかということがあって思っていて、設問 7 については例えば 5 択だけでいいのではないかと、つまり利用したことがないのは主な理由はなんですかといったくらいで収めることをご検討いただけたらいいかなと思います。

それから設問 8 の記載場所はここじゃないと思います。設問 11 と併せるといいと思います。設問の分類的にも違うと思いますし、前の設問でほぼ施設ごとに聴いているのに急に機能に聴いているので混乱するんじゃないかと思えます。設問 11 は同じ機能の分類なので、3 択に整理できるのではないかという提案をご検討いただければと思います。

それから設問 12 については、せっかくのチャンスなので、連絡先などを聴いておいて、参加募集をするときには直接連絡をしていいのではないかと思えます。参加したいと回答したのに何の連絡もないといったことになってしまうかとも思えます。ただし、問題はこの設問だけだと正直ワークショップで何をやるのかが分からないので、ワークショップの内容を記載してもらえるとわかりやすいかなと思います。

それから最後のページの対象施設一覧の「11 その他」の例えばヤングプラザというのが他の分類に入らないということは、要らないとまでは言い切りませんが、ここら辺から整理していく必要があるんじゃないかという気がするのと、行政財産ではなく普通財産にしている施設について、どうするのかということをお早めに出して、例えばこれが全部減らせればこれくらい減りますという話が

できると思っています。これらの施設について、今どういう現状か、どうお考えかということをお教えいただければと思っています。

**【議長】**

事務局から今のご意見について何かありますでしょうか。

**【事務局】**

設問内容についてのご指摘はごもっともだと思いますので、検討させていただきたいと思います。その他の分類については、アンケートの中でも出てくるものがあるので、整理したいと思います。例えば設問8などで若年層支援機能としてヤングプラザが出てくるので、統一したいと思います。普通財産については、貸付け等を行っているものもあるので、再編の検討対象に含めるかということも含めて、表記の仕方を改めて考えたいと思います。

**【議長】**

設問10や11は肝になる部分だと思いますが、施設のタイプによってだいぶ意味が変わってくると思います。学校機能については将来的に児童生徒数が減るなど、状況がこうなったら統廃合をしていくべきということが議論されていくと思いますが、一般的になくすべきかと言われるとそういうことはないと思います。

設問8も学校機能を民間サービスに代替となると私立学校に置き換えていくのかと読める一方で、スポーツやレクリエーション、観光施設は民営化したほうが良いという意見もあるかと思っています。全体をいっぺんに聞いてしまっているので、区別がしにくいというところもあるかと思っています。また、民間サービスに代替可能となると利用料が上がるというのが前提になり、おそらく民営化すると今までほぼ無料だったものがかなり上がるだろう、そうなったら反対だという意見もあると思うので、どういう設定をするかによっても変わってくると思います。ざっくり聴きにくいところがあるかと思っています。

**【事務局】**

設問の8と11での学校機能について、設問の中に入れるべきか迷っています。一般的に学校機能は維持すべきものという意識が強く、学校の統廃合とは違った意味で残すという回答が来てしまうのではないかと思うので、別建てにして学校機能についての設問を設ける案も考えられます。この点についてご意見をいただけますでしょうか。

**【議長】**

学校だけではなくて住宅や高齢者福祉、子育て支援は少し性質が違っていると思います。観光やスポーツ施設などは利用したい人が利用料を上げて良いということもあるかと思っています。機能について全体を整理したほうが良いと思います。整理されないままざっくり聴かれると判断しにくいかと思っています。

**【事務局】**

市民が絶対に行かないといけない施設や交友範囲で行く施設は分けられるかと思っています。義務教育で絶対に行かないといけない学校などは、民間に移管というのは簡単にいかない部分かなと思っています。スポーツやレクリエーション施設については、コストの問題もありますが民間活力を活用するか、今でも指定管理者制度を活用しているものもありますが、その辺も含めて検討したいと思っています。

**【堤委員】**

用途別の分類をするのはいいと思いますが、別に設問を設けることはやめた方がいいと思います。それをやりだすとどこまで聴くのかとか聖域ができたりしますし、用途が検討しづらくなるというのが私のこれまでの経験で、並列に並べるとというのが望ましいと思っています。考え方の違いもあるので必ずしも正しいとは思っていませんが、学校などを別にはしない方がいいと思います。

施設評価をどうしたいのかをまだお聴きしていないのでよくわからないんですが、基本的にはまず全部同じ評価をして、必要に応じて機能の部分を抜いて比較すれば機能ごとに評価できると思います。施設評価基準も別にすることがよく行われますが、私が今までいろいろ自治体にかかわってきた中で、基本的には同じ評価をするというところからスタートするというやり方でやってきました。やり方は議論していただければと思いますが、私としては並列で同じような評価をするということを基本としていただければと思っています。

**【議長】**

施設のタイプは違うと思いますが、まずは基礎的な評価として全体の評価、アンケートをやるという進め方はいいと思います。その上で施設について、利用率とか老朽化といったデータを踏まえて、これはやっぱりこうしたほうがいいといった検討になってくるかと思っています。

**【若狭委員】**

今回議論するのはハード面についての議論になると思いますが、市民の方に設問11で機能の充実や維持ということを考えてもらうときに、ソフト面を意識しないと箱物だけ見てどうだと言われても答えられないのではないかと思います。現実的にはどう使われているかということはある程度書いていただくとありがたいと思いました。私自身がこのアンケートに答えようとしたときに、この施設はどのような使われ方をしているのだろうか、自分は何をしたいのだろうか、こんなことはできないだろうかといったことを考える上でどこに当てはまるのかといったことがわかりませんでした。ソフト面も利用者に影響してくると思うので、具体的な活用状況を挙げていただければと思います。

**【東條委員】**

このアンケートは家族が4名なら4通送るのでしょうか。

**【事務局】**

対象者は世帯ではなく個人を抽出するので、その方のみのアンケートになります。

**【議長】**

子供だけに届く場合や、夫婦で意見が違うこともあるということですね。

**【事務局】**

親子であっても、対象者が子供であれば、できれば親は意見を言わずに、子供の生の意見をいただけるとありがたいです。

**【東條委員】**

アンケートから市の財政が苦しい、これからは施設を減らしていかないといけないという目的があまり伝わってきませんでした。何のためにやるアンケートかという部分が分かりにくいので、説明部分で施設を減らさないといけないという部分をもっと前面に押し出した内容にしてもいいと思います。

**【議長】**

このアンケート案だと統廃合以外の公共施設総合管理計画の基本方針2であるような複合化、多機能化といった意見が出にくいと思います。単体の施設を充実するか縮小するかといった設問となっており、サービスは残して面積は減らすなど、同じ建物にあるサービスをマッチングできる、共有化できるということを誘導していきたいところですが、スポーツ機能の共有化や、高齢者と子どもへのサービスを一緒に行い、世代間交流を増やすといったような前向きな意見を集めるために、ソフト的な要素を取り入れたほうが良いと思います。建物は仮設でもいいけどサービスは残したいというような意見もあるかと思います。

**【若狭委員】**

建物の管理の形態について、指定管理などの管理方法もあって収益を上げる施設がある一方で、市の職員が直接運営している施設もあると思うので、それを記載したほうが良いのではないのでしょうか。

**【事務局】**

管理の形態は今後ずっと同じということではなく、場合によっては指定管理やPFI事業なども検討する必要があると思っていて、まずはハード面について把握しようとしているところです。

**【若狭委員】**

今この施設がどういう管理をしているか、ということを整理していただきたいです。

**【議長】**

設問8で民間に代替可能なものを聴いているということからすれば、民間で管理している施設が示されても良いのではないのでしょうか。例えば、施設一覧に記号を追加して、公営と民間を簡単に表示しても良いと思います。

その他に何かご意見ご質問等がありますでしょうか。

**【事務局】**

アンケート対象の抽出方法についてご審議をお願いしたいと思います。全体で3,000通ありますが、対象者の抽出方法について事務局から2案ご説明します。

まず、A案ですが、人口比率で按分して抽出する方法です。地区別の人口割と年代別の人口割を使い、各地区の抽出数を算出した後に年代別の割合で抽出数を割り振ります。

少ないところだと、和田地区0.95%、弥富地区では0.84%になってしまい、ここから抽出した人数に年代別の割合で割り振ると各世代ほとんどいない状態になります。

市民意識調査のアンケートを参考にしていますが、和田、弥富地区の配布数が少ない点が気になります。

B案は完全に均等に割る方法です。3,000通を8地区、7世代に割るので、一つの地区に375通、世代ごとに50通ほど配布する案です。正解はないのですが、どちらがより望ましいかご審議をお願いします。

**【議長】**

事務局としてはどちらが望ましいと考えていますか。

**【事務局】**

事務局としては地区毎に自分の地区の施設に対する考え方を把握できるという点から、人口が少ない地域にも一定数のアンケートを行う必要があると考えており、B案で進めたいと考えていますが、様々な意見もあるかと思ってお話ししたところです。

**【議長】**

B案だと、人口の多い地区では人口に対して配布数が少ないからほとんど自分のところに来ないという人になるということですね。人口が多い地域はもう少し多くするといったこともあるのでしょうか。

**【大内委員】**

市民意識調査の手法との整合性が気になります。市民意識調査と異なる手法による理由は何でしょうか。市民意識調査も地区別で判断する項目がないわけではないと思いますので、今回均等割にする理由とは言い切れないと思います。

このアンケートの目的はそもそも何でしょうか。答えやすいようにアンケートの設問数を減らす意図はわかりますが、そのせいかアンケートの目的がよくわからなくなっている、アンケートから得られるものが見えてこなくなっていると思います。

**【事務局】**

今後の方針検討を進めるに当たって、地区ごとの検討を進めることがとても大事だと考えております。特に佐倉市は、人口の偏りが大きいので、同じにとらえるのではなく、地区ごとで求められている施設が何かということ把握することが大事だと考えています。

その上で、ワークショップの中でも検討材料として使っていければと考えています。

**【大内委員】**

A案だと2通しか割り振られない年代もあり、統計的に意味のある数字なのかわかりませんが、均等割りでもいいのかという判断もできません。A案、B案の折衷案のようなところで統計的に数字が把握できればいいのではないのでしょうか。

**【堤委員】**

今の議論は地域別を見たいのか、又は年齢別などのほかの視点で見たいのかということに尽きると思います。ただ、A案では配布数が2通では返事がないおそれもあり、地区の意見も聴けない、年代の意見もよくわからないとなるおそれがあるので、どちらかといえばB案が望ましいと思います。折衷案というのでもいいと思いますが、A案は人が少ない地区はほとんど意見を聴けないということになると思います。

**【事務局】**

折衷案でしたら地区別は均等に割り、その後地区内で人口割によって割り振るというやり方で実施できればと思います。

**【議長】**

QRコードは配られた人しか読むはいけないのですか。厳格に制限しているのでしょうか。対象者を制限せず、やれる人にやってもらうというのもありかもしれません。

対象者からの回答方法はQRコードをメインにして紙はその補完扱いとして

アンケートを実施してもいいのではないのでしょうか。

【事務局】

予算の制約があるので郵送の通数を増やすのは難しいですが、ご指摘のとおり QR コードによるアンケートであれば公共施設にポスターを貼るなどその中でも回答数を増やせる見込みがあるため、前向きに検討させていただきたいと思います。

【議長】

期限がある中で大変だと思いますがよろしくお願いします。

【事務局】

期限についてですが、今回アンケートについて再度検討しなければならない指摘を多くいただいております。市としてもこのアンケートは重視しているので、実施期限を延長する方向で考えたいと思います。アンケートの内容を練り直し、次回の審議会で再度審議していただきたいと思います。

【議長】

アンケートについては、実施方法を含めて検討して次回会議で改めて審議ということにします。

最後に連絡事項について事務局より説明願います。

【事務局】

(事務連絡)

【議長】

それでは以上で、本日の審議会を終了したいと思います。議事進行へのご協力ありがとうございました。

これをもちまして、第1回佐倉市公共施設再配置審議会を閉会いたします。

上記のとおり会議の顛末を録し、ここに署名する。

佐倉市公共施設再配置審議会委員

佐倉市公共施設再配置審議会委員